



【自主 敬愛 勇健】～生徒も教師も生き生きと活動する学校～

＜3 学年・進路講話より＞ ～3 年生の真剣な表情から緊張感が伝わってきました～

秋桜祭が終わり、3 年生はそれぞれの進路希望を実現するための準備で忙しくなっています。昨年度は県立高等学校入学者前期選抜の内容が変更になり、今年度は県立高等学校の出願の仕方が変わります。このことから、進路担当の先生のお話や担任の先生のお話をしっかりと聞き、分からないことは質問し、確実に理解していく必要があります。3 年生全員の進路希望が叶うように、私は応援していますので、皆さんには本気を出して準備を進めていってほしいと思います。



さて、3 学年では 10 月 8 日(水)の 1 校時に、講師をお招きし、進路講話を行いました。講師の先生は「茅野 崇 先生(進学会ゼミナール・進路アドバイザー)」です。昨年度もお招きし、3 年生に進路に関わる大事な話をしていただきました。昨年度もそうでしたが、進路決定に向けてのやるべきことや心構えなどについて、簡潔明瞭に、かつ熱く語っていただけたので、内容が心に残ります。資料もいただいていますので、改めて読み返し、進路決定への意欲を高めてほしいです。

講師の先生のお話の中で心に残った内容は人それぞれ異なりますが、私は「知識の詰め込みだけでは入試は通用しない。自ら考え、調べ、答えを導き出す力が問われる。そのためには、身近な出来事について考え、自分なりの考えをもつ習慣を身につけることが必要である」という内容にとっても納得がきました。このことは、校長講話の中でも、皆さんに伝えていることだからです。ニュースや新聞で取り上げられていること、テレビで見たことや聞いたこと、友達との会話で話題になったことなど、色々な事柄の中で、疑問に思ったことについて自分なりの考えをもつことが大事であると伝えてきました。この習慣は思考力の向上にもつながります。講師の先生は「入学者選抜学力検査ではその力を問う問題が出題されている」ともおっしゃっていました。今からでも遅くはありません。疑問に思ったことを自分で考え、自分なりの答えを導き出す習慣を身につけていきましょう。今よりも発展し、より複雑化していく世の中で逞しく生きていく力にもなるはずです。

＜長野県中学校新人体育大会＞ ～新人戦は自分のこれからの課題をつかむ大会です～

長野県中学校新人体育大会がすでに始まっています。すでに大会を終えた部からいくつもの優秀な結果をいただき、嬉しく思っています。夏の総合体育大会は、限られた期間に集中して開催されますが、新人体育大会は、種目ごとの開催になり、9 月の中旬から 11 月の中旬まで分散して行われます。新人戦は、3 年生が引退し、2 年生、1 年生がチームのバトンを引き継ぎいから初めての大きな公式戦となります。試合に勝って次に進むことは目標の一つだと思いますが、勝っても負けても、自分として、チームとしてのこれからの課題を見つけることも目標の一つにしてほしいと思います。

※中体連主催の新人体育大会は、東信地区大会までですが、連盟や協会主催による上の大会までつながる部活動(種目)もあります。新人戦の結果は全種目が終わりましたら紹介いたします。

＜丸子北小からの連絡＞ ～北小では山羊を飼育していますので、見に来てください～

お隣の丸子北小学校では、夏休み明けから 2 匹の山羊を飼い始めました。立派な山羊小屋も建てられています。私も北小で会議があったときに、2 匹の山羊に会って来ました。ちょうど餌の時間で、小屋からこちらに顔を出していましたので、写真を撮ってきました。1 匹はオスで、名前は「ミルク」、もう 1 匹はメスで名前は「モナカ」だそうです。以前に勤めていた学校でも山羊を飼育していたので、山羊の顔が懐かしかったです。学校帰りに見に来る中学生も何人かいると北小の先生方から伺っています。かわいい山羊さんたちですので、ぜひ、癒されに行ってください。



モナカ

ミルク